

「多様性」について(20250112)

価値観と価値は違う

価値観が多様である

みんなちがってみんないい(金子みすゞ)

救いになる一方いいわけにもなる

価値観はその人その人の主観→相対的→人それぞれ

テレビニュース、新聞を見る

共通の情報により同じようなことを感じる

価値は「真善美」のような普遍認識

すべきこと→時代により変動する

SNSにより世間一般から個々多様になっている

多様性は自由→利害対立→普遍闘争

価値もまた多様なものではないか

SNS→自分の聞きたいことだけを聞く

秩序をつくる必要→一様→息苦しい

秩序から逃れる、はみ出す→多様

いろんな人の意見を聞かない

ダイバーシティ→マジョリティ、マイノリティ

マジョリティ(多数派)による画一的価値、価値観の支配→マイノリティの抑圧

ナチスの支配、戦前の日本の国粋支配

人との違いをどう認めるか

メリットとデメリットがある

周囲の同調圧力→等質性→一様なものを強制

障がい者を違うものとして見てしまう

人種、肌の色、ことばによる違い

自分の考えは絶対か自省する

LGBTQ→同性婚には抵抗を感ずる

心を開くこと、異文化交流(コミュニケーションが重要)

いったんひかえて耐える

人間の性行動には多様性がある

本能的には異性間の繁殖行動→大きな傾向としてある

人間の脳神経の発達のため多様性を持つ→未熟児で生まれる

発達過程で教育=制限を受ける→ことば

自由に流動する認知エネルギー→「欲動」(フロイト)

欲動の向かう先は一つではなく自由、定まっていない→流動的

性の対象も最初は定まっていない

大多数が異性を欲望するようになる(マジョリティ)

本能→欲動として再形成→本能からの逸脱

社会制度の変化、秩序からの逸脱

人間は本能のままに生きるとはなく、欲動の可塑性を常に持っている

同性愛(マイノリティ)という別の接続も成立する

逸脱として再形成→正常化される

岡本太郎の例

